

# Panasonic

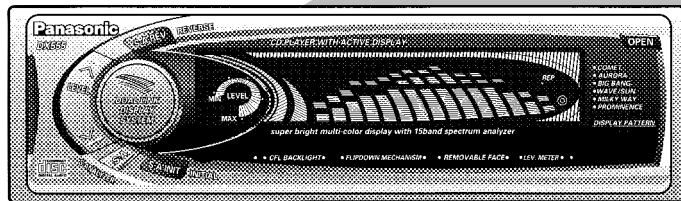
アクティブディスプレイ  
CDプレーヤー

CD PLAYER WITH ACTIVE DISPLAY

## 取扱説明書

品番

# CX-DX555D/SD



CX-DX555D

**CARAUDIO**

### 保証書別添付

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
そのあと保存し、必要なときにお読みください。  
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店  
からお受け取りください。

このたびは、パナソニックカーオーディオ アクティブディスプレイ CDプレーヤー CX-DX555D / SD をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

## 特長

1 DIN CDプレーヤー（CD，スペアナ）

- 別売のメインユニット（CQ-MR555D，CQ-GX555D）専用CDプレーヤーです。

昼・夜で違った顔を演出

- 透過メタリック塗装パネル使用で，昼・夜の表情が変わります。
- ブラックライトをあてると，パネルが光ります。

15バンドスペアナ表示

- 別売のMDレシーバー（CQ-MR555D）やカセットレシーバー（CQ-GX555D）を接続すると，ダブルスペアナ表示します。

## CX-DX555D と CX-DX555SD との相違点

- CQ-DX555SD は，CQ-DX555D に対して同機能で塗装色が異なります。
- CQ-DX555D と CQ-DX555SD の配線のしかたは，全て同じです。
- イラストは，CQ-DX555D が記載されています。

本説明書には別売のメインユニットの品番が CQ-MR555D および CQ-GX555D と記載されておりますが，CQ-MR555SD および CQ-GX555SDも同様にご使用頂けます。

# もくじ

## はじめに

<b>安全上のご注意</b> .....	4
<b>ご使用前に</b>	
本機の操作について .....	6
付属品 .....	6
<b>各部のなまえ</b>	
操作パネル（前面）部 .....	6
ディスプレイ部 .....	7
後面部 .....	7

## 使いかた

<b>共通操作</b>	
電源を入れる .....	8
電源を切る .....	8
スピーカ表示を切り替える .....	8
スピーカのレベルを調整する .....	8
スピーカ表示をアレンジする .....	9
スピーカ表示をもとに戻す .....	9
レベルメーター表示を切り替える .....	9
操作パネルを開閉する .....	10
<b>CDを聴く</b>	
CDを再生する .....	11
CDを取り出す .....	12
<b>他のサウンドソース（音源）に切り替える</b> .....	13

## その他

リムーバブルフェイスについて .....	14
----------------------	----

## 必要なときに

お手入れのしかた .....	16
CD（コンパクトディスク）の取り扱い .....	16
故障についてのお願い .....	17
故障と思われる前に .....	17
配線のしかた .....	19
取り付けのしかた .....	21
仕様 .....	23
アフターサービスについて .....	23

はじめに

使いかた

その他

必要なときに

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害，財産への損害を未然に防止するため，必ずお守りいただくことを，次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を，次の表示で区分し，説明しています。


	<b>警告</b>	この表示の欄は，「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	<b>注意</b>	この表示の欄は，「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を，次の絵表示で区分し，説明しています。  
（下記は，絵表示の一例です。）

	この絵表示は，してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は，必ず実行していただく「強制」内容です。

## 警告

**運転者は走行中に操作をしない**

  
**禁止**

走行中に操作をすると，前方不注意による交通事故の原因になります。  
操作は安全な場所に停車して行ってください。

# ⚠ 注意

## 取り付け、配線は専門技術者に依頼する



本機の実り付け、配線には専門技術と経験が必要です。安全のため、お買上げの販売店にご依頼ください。

## 分解や改造はしない



分解禁止

本機を分解したり改造すると、発煙・発火の原因になります。

## 故障や異常のまま使用しない



禁止

音が出ない、煙が出る、変な匂いがする等の異常な状態で使用すると、発火の原因になります。直ちに使用を中止してお買上げの販売店にご相談ください。

## 決められたヒューズを使用する



ヒューズ交換は必ず表示された規定のヒューズをご使用ください。規定以外のヒューズを使用すると、発煙・発火の原因になります。

## 可動部に手・指や異物を入れない



禁止

可動部に手・指や異物を入れるとけがや故障の原因になります。

# ご使用前に

## 本機の操作について

はじめに

- 本機は、別売のメインユニット（CQ-MR555D, CQ-GX555D）専用CDプレーヤーです。
- 本機の電源・音量調整・CDの操作等は、接続したメインユニット（CQ-MR555D, CQ-GX555D）で操作します。

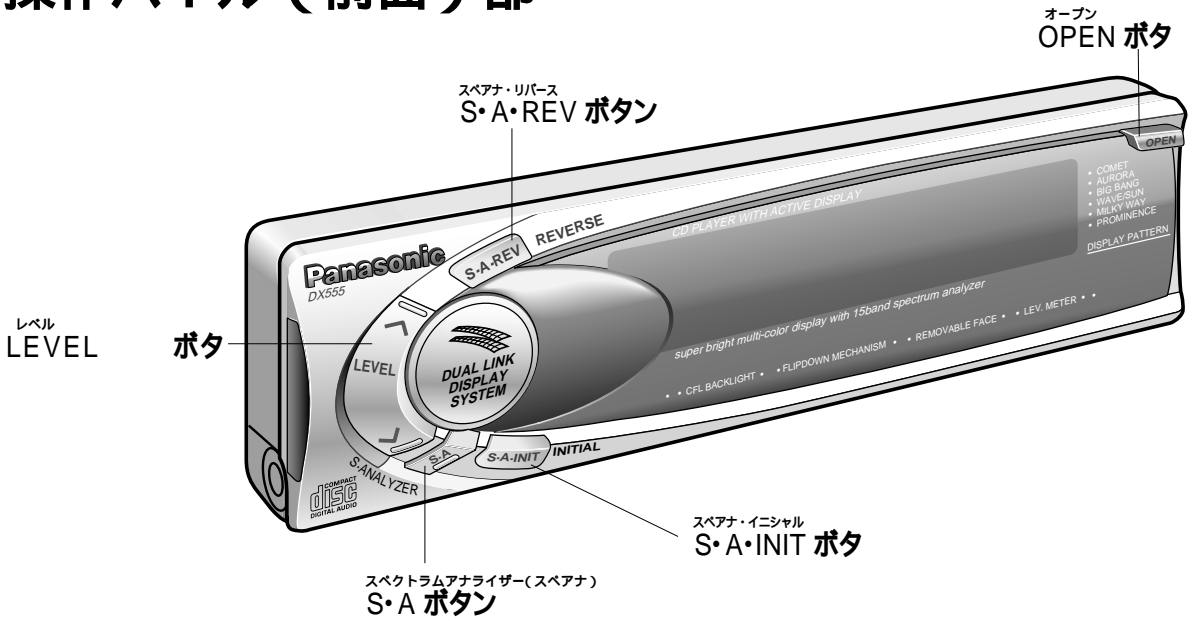
## 付属品

ご確認ください。

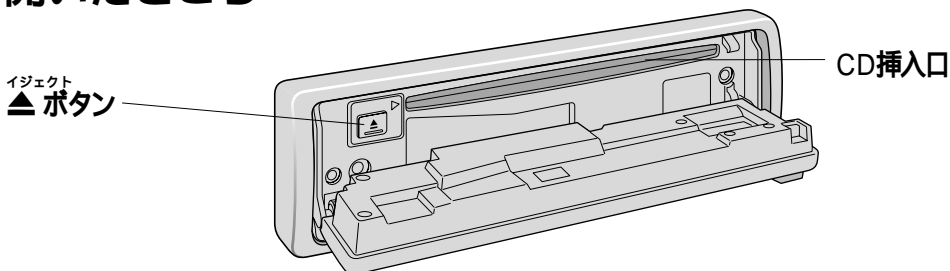
- |                     |              |
|---------------------|--------------|
| 1. 取扱説明書.....       | 1            |
| 2. 取り付け用付属品.....    | 一式 (P.21 参照) |
| 3. 保証書.....         | 1            |
| 4. お客様ご相談窓口一覧表..... | 1            |

# 各部のなまえ

## 操作パネル（前面）部

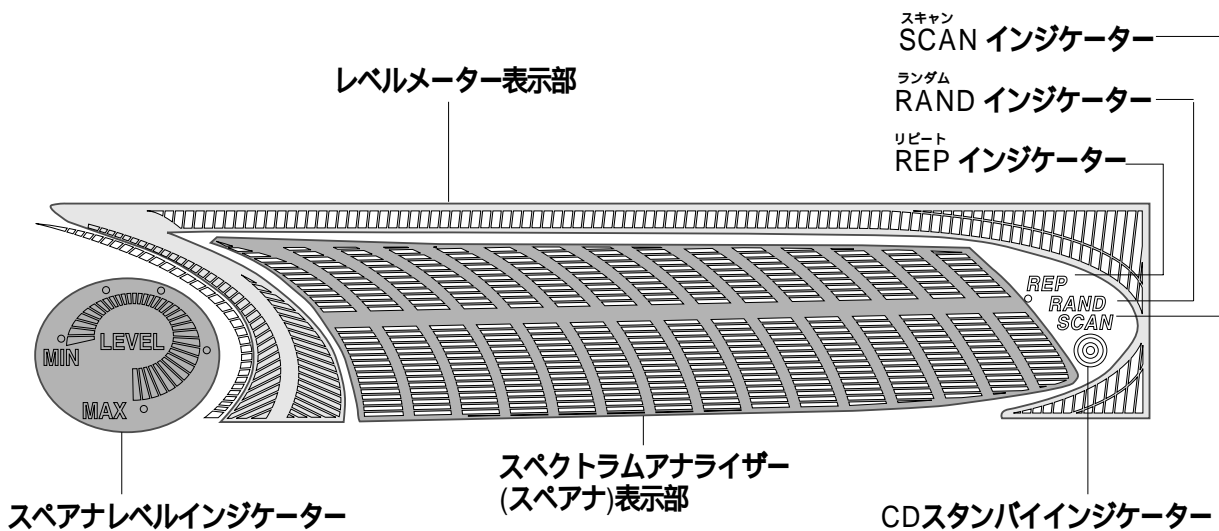


## 開いたところ



# 各部のなまえ (つづき)

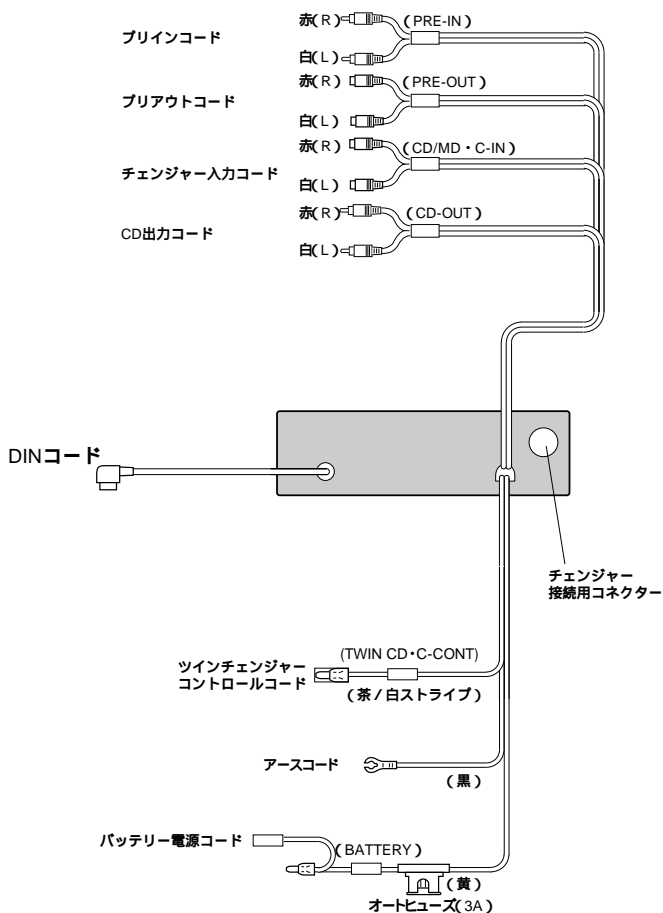
## ディスプレイ部



はじめに

## 後面部

配線のしかたは、P.19 ~ 20 をご参照ください。

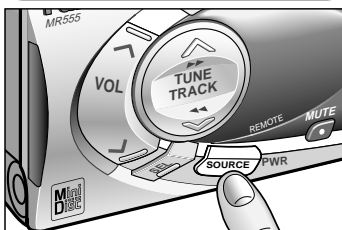


# 共通操作

## 電源を入れる

操作の前に、車のエンジンスイッチを“ACC”または“ON”にしてください。

### 電源ON

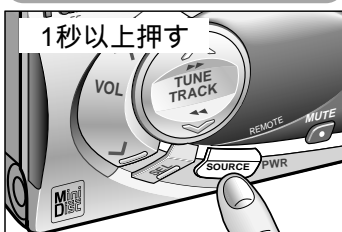


例) CQ-MR555D

メインユニット (CQ-MR555D , CQ-GX555D) の PWR ボタンを押す。

## 電源を切る

### 電源OFF

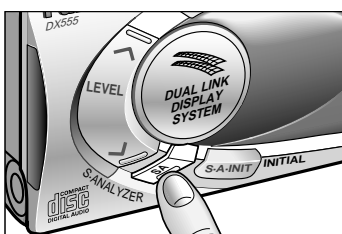


例) CQ-MR555D

メインユニット (CQ-MR555D , CQ-GX555D) の PWR ボタンを1秒以上押す。

## スペアナ表示を切り替える

スペアナ表示を、13パターンの中から選ぶことができます。



S・A ボタンを押す。

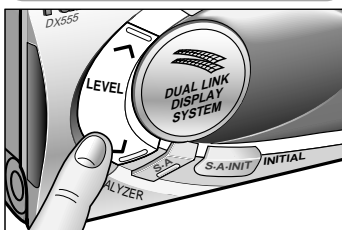
- ボタンを押すごとに、スペアナの表示パターンが切り替わります。

### お知らせ

スペアナ表示をメインユニット (CQ-MR555D , CQ-GX555D) で切り替えると表示パターンが連動して切り替わり、7パターンとなります。ダブルスペアナ表示

## スペアナのレベルを調整する

### スペアナレベル



LEVEL または LEVEL ボタン を押す。

LEVEL : 表示レベルが上がる。

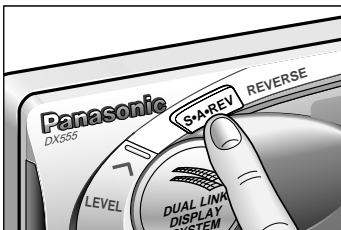
LEVEL : 表示レベルが下がる。

- スペアナレベルインジケータが点灯します。



# スペアナ表示をアレンジする

スペアナ表示を変化させることができます。



**S·A·REV ボタンを押す。**

- ボタンを押すごとに、スペアナ表示が次のように切り替わります。

▶ 通常の表示

左右が反転する。

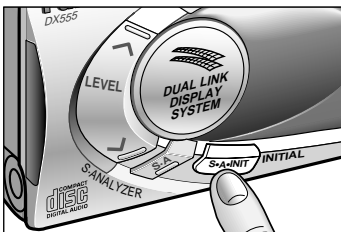
上下が反転する。

上下左右が反転する。

- ボタンを2秒以上押すごとに、表示パターンのネガとポジが反転します。

# スペアナ表示をもとに戻す

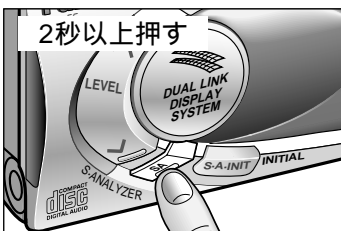
アレンジしたスペアナ表示を通常の表示（アレンジする前の表示）に戻すことができます。



**S·A·INIT ボタンを押す。**

# レベルメーター表示を切り替える

レベルメーター表示を、3パターンの中から選ぶことができます。



**S·A ボタンを2秒以上押す。**

- ボタンを2秒以上押すごとに、レベルメーターの表示パターンが次のように切り替わります。

▶ 音に合わせた表示をする。

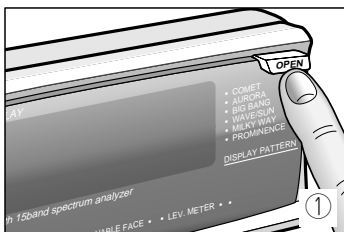
音に関係なく、周期的な表示を繰り返す。

常にレベルメーター表示部全体を点灯する。

# 共通操作 (つづき)

## 操作パネルを開閉する

### CD 挿入口



- ① 操作パネルを開く  
操作パネルの OPEN ボタン を押す。
- ② 操作パネルを閉じる  
操作パネルを押し上げて、戻す。

### ⚠ 注意



禁止

### 可動部に手・指や異物を入れない

可動部に手・指や異物を入れると、けがや故障の原因になります。

### お願い

- 開いた操作パネルに無理な力をかけたり、物を置かないでください。
- CDを挿入口にくわえたまま、操作パネルを閉じないでください。

### お知らせ

- 操作パネルは、メインユニットの電源“ON/OFF”に関わらず、開閉できます。
- 操作パネルが開いているときは、CDのイジェクトしか操作できません。

# CDを聴く

- 本機にCDが入っているときは、接続した別売のメインユニット (CQ-MR555D, CQ-GX555D) のチェンジャースタンバイインジケータとチェンジャー番号インジケータ ■ が点灯します。
- CDを聴くときは、接続したメインユニットで、サウンドソース (音源) をチェンジャー (CHANGER) に切り替えて、チェンジャーと同様に操作してください。
- 詳細は、接続したメインユニットの取扱説明書をご参照ください。

## お知らせ

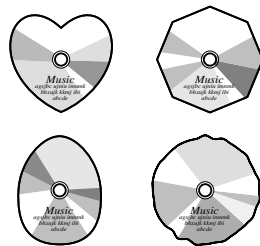
ディスクの選択, ディスクランダムプレイ, ディスクスキャンプレイ, ディスクリピートプレイはできません。

## 特殊形状CDについて

ハート型や八角形など特殊形状のCDは、再生できません。故障の原因になりますので、ご使用にならないください。

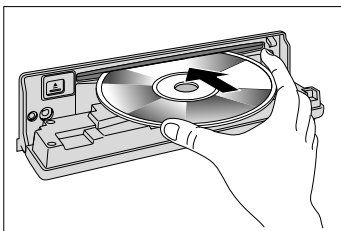


禁止



## CDを再生する

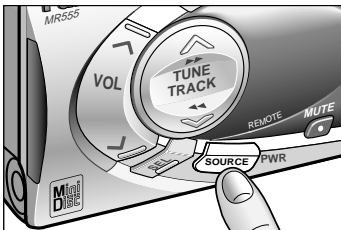
CDが入っていないとき (本機のCDスタンバイインジケータ消灯)



本機の操作パネルを開き、CDのラベル面を上側にして、CD挿入口に差し込む。

- 電源が“ OFF ” のときは、CDを挿入すると“ ON ” になります。
- CDの再生が始まり、本機のCDスタンバイインジケータが点灯します。

CDが入っているとき (本機のCDスタンバイインジケータ点灯)



例) CQ-MR555D

メインユニットのSOURCE ボタンを押して、チェンジャー (CHANGER) にする。

- CDの再生が始まります。

別売のCDチェンジャー (CX-DP801D / CX-DP1203D等) またはMDチェンジャー (CX-MD6D) を接続している場合には、メインユニットのチェンジャー番号インジケータが“ ■ ” (CHANGER

## お願い

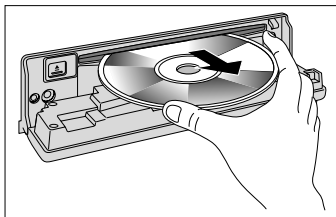
- CDアクセサリとして市販されているプロテクトフィルムやスタビライザーなどを使用すると故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。
- CDが完全に引き込まれてから、操作パネルを閉じてください。

## お知らせ

- CDが入っていないときに切り替えると、電源が“ OFF ” になります。
- 本機の操作パネルが開いているときは、CDのイジェクトしか操作できません。

# CDを聴く (つづき)

## CDを取り出す



操作パネルを開き (P.10 参照), ▲ ボタンを押す。

- CDがイジェクトされます。
- 本機でCDを再生していたときは、イジェクト後に電源が“OFF”になります。

### お願い

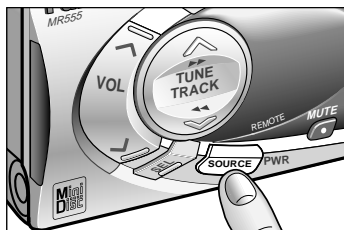
- 開いた操作パネルに無理な力をかけたり、物を置かないでください。
- CDを挿入口にくわえたまま、操作パネルを閉じないでください。

### お知らせ

操作パネルが閉じているときや取りはずされているときは、CDをイジェクトできません。

# 他のサウンドソース（音源）に切り替える

- 別売のメインユニット（CQ-MR555D, CQ-GX555D）で、他のサウンドソースに切り替えることができます。



例) CQ-MR555D

メインユニットの SOURCE ボタンを押す。

- ボタンを押すごとに、サウンドソースが切り替わります。

別売のCDチェンジャー（CX-DP801D / CX-DP1203D等）または MDチェンジャー（CX-MD6D）を接続している場合には、メインユニットでチェンジャーとの切り替えができます。

[ 初期設定：CHANGER 1 ]



例) CQ-MR555D

メインユニットの CHANGER **1** **2** ボタンを押す。

- ボタンを押すごとに、次のように切り替わります。

本機（CHANGER 1）

チェンジャー（CHANGER 2）

- メインユニットのチェンジャー番号インジケータ（**1**または**2**）が点灯します。

## お知らせ

- チェンジャーが接続されていないときは、切り替わりません。
- 本機にCDが入っていないときやチェンジャーの中にマガジンが入っていないときに切り替えると、電源が“OFF”になります。

# リムーバブルフェイスについて

本機の操作パネルは、取りはずすことができます。 リムーバブルフェイス

## 警告



禁止

### 運転者は走行中に操作をしない

走行中に操作をすると、前方不注意による交通事故の原因になります。操作は安全な場所に停車して行ってください。

## 注意

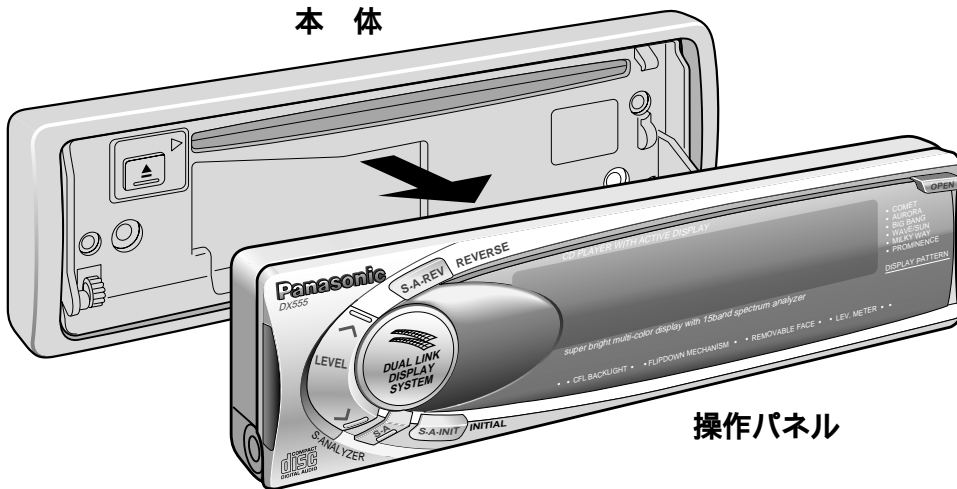


禁止

### 可動部に手・指や異物を入れない

可動部に手・指や異物を入れると、けがや故障の原因になります。

本 体

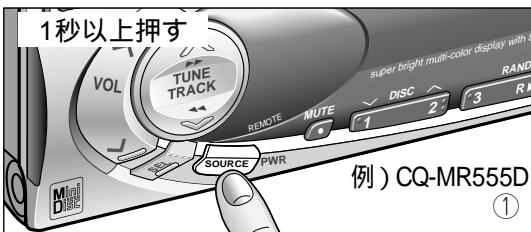


操作パネル

## お願い

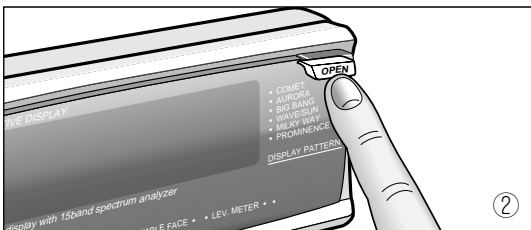
- 操作パネルは防水ではありません。故障の原因になりますので、水をかけたり、湿気の多いところに置かないでください。
- 操作パネルは、気温が上がるダッシュボードやその周辺には置かないでください。
- 操作パネル側および本体側の接点には触らないでください。電気的な接触不良を引き起こします。
- 操作パネル側および本体側の接点に汚れや他の異物がついたときは、清潔な乾いた布で拭き取ってください。
- 開いた操作パネルに無理な力をかけたり、物を置かないでください。

## 操作パネルの取りはずしかた



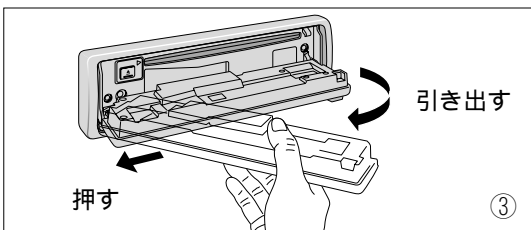
### ① 電源を切る

メインユニット (CQ-MR555D, CQ-GX555D) の PWR ボタンを1秒以上押す。



### ② 操作パネルを開く

操作パネルの OPEN ボタン を押す。



### ③ 操作パネルを取りはずす

操作パネルを左側に押しながらずらし、手前に引く。

### お願い

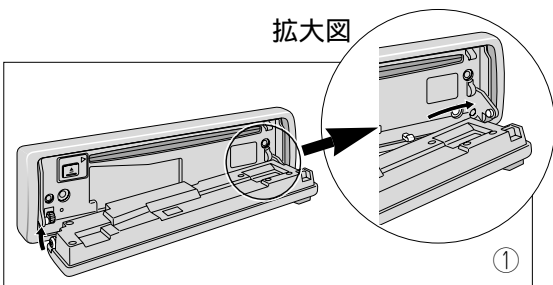
- 操作パネルを取りはずす前に、必ず電源を切ってください。
- メインユニットの操作パネルを取り付けないでください。

### お知らせ

操作パネルを取りはずしているときは、操作できません。

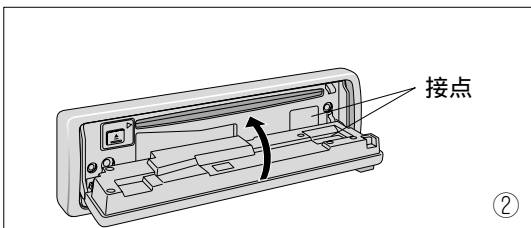
## 操作パネルの取り付けかた

拡大図



### ① 操作パネルを本体にはめる

操作パネルの右端のくぼみを本体の右端にある突起部と合わせてから、操作パネルの左端のくぼみを突起部にはめ込む。



### ② 操作パネルを閉じる

操作パネルを押し上げて、戻す。

# お手入れのしかた

## 本機の清掃について

- 乾いた柔らかい布で拭いてください。ベンジン、シンナー類を使うと、ケースや塗装が変質しますので、避けてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。



禁止



### お願い

本機内に水が入ると故障の原因になりますので、洗車や雨のときに水がかからないようご注意ください。

# CD (コンパクトディスク) の取り扱い



本機に使用できるコンパクトディスクは左のマークが入っているものに限ります。

## CDの持ち方



### お願い

必ずディスクのセンターホールと外周部分を持ってください。

## 取り扱い上のお願

- CDの汚れやゴミ・キズ・そりなどが、音とびなどの誤動作の原因になる場合があります。特にケースからの出し入れにご注意ください。
- ラベル面に紙などを貼ったり、傷をつけたりしないでください。
- CDは曲げないでください。

## 保管上のお願

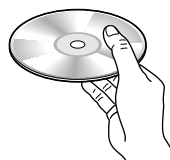
- CDを長時間使用しないときは、汚れやゴミ・キズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。
- 次のような場所に置くことは避けてください。
  - 1) 長時間直射日光の当たる場所。
  - 2) 湿気やゴミ・ほこりの多い場所。
  - 3) 暖房器具の熱が当たる場所。
  - 4) 車のシート、ダッシュボードの上。

## 新しいCDの使用上のお願

新しいディスクには、ディスクのセンターホールや外周にバリ(右図参照)が残っている場合があります。このようなディスクをご使用になると、ディスクが正しくセットされず、動作しないことがありますので、バリを細い棒状のもの(たとえばボールペンなど)で取り除いてからお使いください。



禁止



ディスク面は回転する方向にふかないでください。

ディスク面に触れないでください。



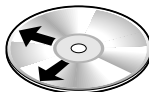
ベンジン、アナログ式レコード盤クリーナー、静電防止剤はCDを傷めるのでクリーニングに使用しないでください。



CDは曲げないでください。

## CDのクリーニング

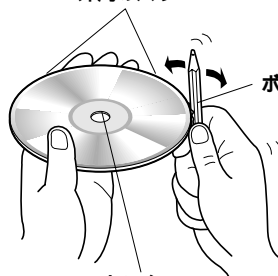
CDに汚れやゴミがついたときは、水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭いてください。



### お願い

ディスク面を拭くときは、必ず内側から外側方向に拭いてください。

外周のバリ



ボールペンなど

センターホールのバリ



# 故障についてのお願い

万一異常(ヒューズの溶断など)が起りましたら、必ずお買い上げの販売店またはお近くの「お客様ご相談窓口」(別紙参照)に修理をご依頼ください。ご自身でヒューズの取り替えや修理をされますと、思わぬことで故障の範囲を大きくすることがありますので、特にご注意ください。

## ⚠ 注意

### 故障や異常のまま使用しない



禁止

音が出ない、煙が出る、変な匂いがする等の異常な状態で使用すると発火の原因になります。直ちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。

### 分解や改造はしない



分解禁止

本機を分解したり改造すると、発煙・発火の原因になります。

# 故障と思われる前に

## 電源

症状	原因	処置	参照ページ
電源が入らない。	車のエンジンスイッチが入っていない。	車のエンジンスイッチを“ACC”または“ON”にしてください。	8
	各コードが正しく接続されていない。	各コードを正しく接続してください。	19~20
	バッテリー電源コードが正しく接続されていない。	バッテリー電源コードを、常時通電している端子に接続してください。	19~20
	ヒューズが切れている。	“故障についてのお願い”の項をご参照のうえ、所定容量のヒューズと交換してください。	17

## 共通

症状	原因	処置	参照ページ
音が出ない。	車のエンジンスイッチが入っていない。	車のエンジンスイッチを“ACC”または“ON”にしてください。	8
	電源が“ON”になっていない。	メインユニットの電源を“ON”にしてから、音量を調整してください。	8
	音量が下がっている。	メインユニットの音量を上げてください。	
	各コードが正しく接続されていない。	各コードを正しく接続してください。	19~20
	バッテリー電源コードが正しく接続されていない。	バッテリー電源コードを、常時通電している端子に接続してください。	19~20
	アースコードが正しく接続されていない。	アースコードを、車体の金属部へ接続してください。	19~20
	結露している。	しばらく放置してからご使用ください。	

必要なときに

# 故障と思われる前に (つづき)

## CD

症 状	原 因	処 置	参照ページ
CDが入らない。	すでに1枚入っていて、2枚目を入れようとしている。	イジェクトしてから、次の1枚を入れてください。	11
CDがイジェクトしない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● CDの不良。</li> <li>● メカの不良。</li> </ul>	操作パネルを開けて、▲ ボタンを押してください。正常に戻らない場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。	12 / 23
CDを挿入しても音が出ない。	CDが裏返し。	ラベル面を上側にして、入れてください。	11
	CDが汚れている。	“CDのクリーニング”の項をご参照のうえ、CDのクリーニングをしてください。	16
CDの音がとぶ。 音質が悪い。	CDが汚れている。	“CDのクリーニング”の項をご参照のうえ、CDのクリーニングをしてください。	16
	取り付け角度が30°を超えている。	取り付け角度を30°以内に調整してください。	21
振動により音がとぶ。	取り付けかたが不安定。	“取り付けのしかた”を参考にして、本機と取り付け金具などをしっかり固定してください。	21 ~ 22

## その他

症 状	原 因	処 置	参照ページ
操作できない。 表示が異常。	操作パネルがメインユニットと入れ替わっている。	本機の操作パネルを取り付けてください。	15

## CDプレーヤー使用時のエラー表示

ディスプレイ表示	原 因	動 作	処 置
CD - E1 -	ディスクが汚れている、または裏返しになっている。	自動的にディスクがイジェクトされる。	ディスクを確認してください。
CD - E2 -	ディスクに傷がついている。		
CD - E3 -	何らかの原因でセットが動作しない。	—	操作パネルを開けて、▲ ボタンを押してください。正常に戻らない場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「お客様ご相談窓口」に修理依頼をしてください。
PLEASE EJ	イジェクト動作が完了していない状態のとき、CDの演奏を始めようとした。	—	操作パネルを開けて、▲ ボタンを押してください。

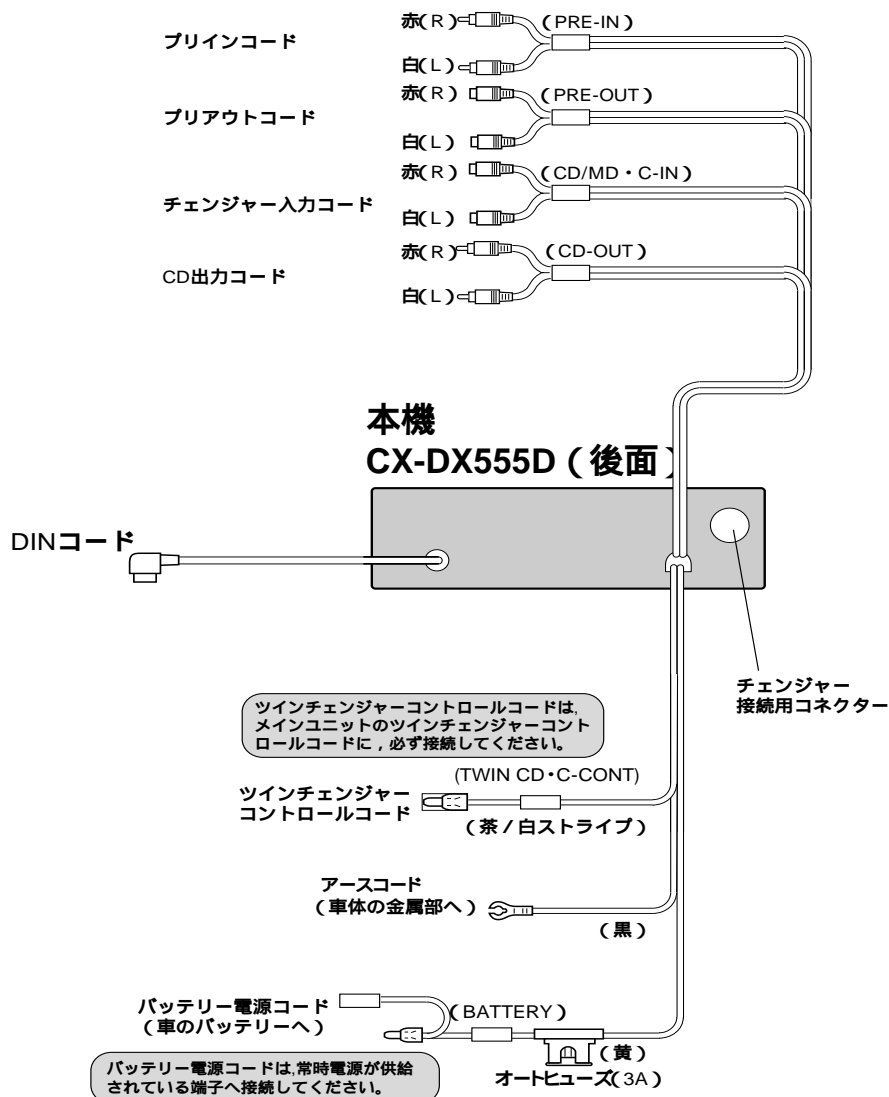
# 配線のしかた

## 配線の前に

- 本機はDC12V⊖アース車専用です。
- 配線作業中のショート事故防止のため、バッテリーのマイナス端子をはずしておいてください。
- 配線については、各機器の取扱説明書をよくお読みください。
- スピーカーは各種とりそろえておりますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

ドライブコンピューターやナビゲーションコンピューターが取り付けられている車では、バッテリーの端子をはずすとこれらのコンピューターのメモリーが消えてしまうことがありますので、ご注意ください。

## 基本配線

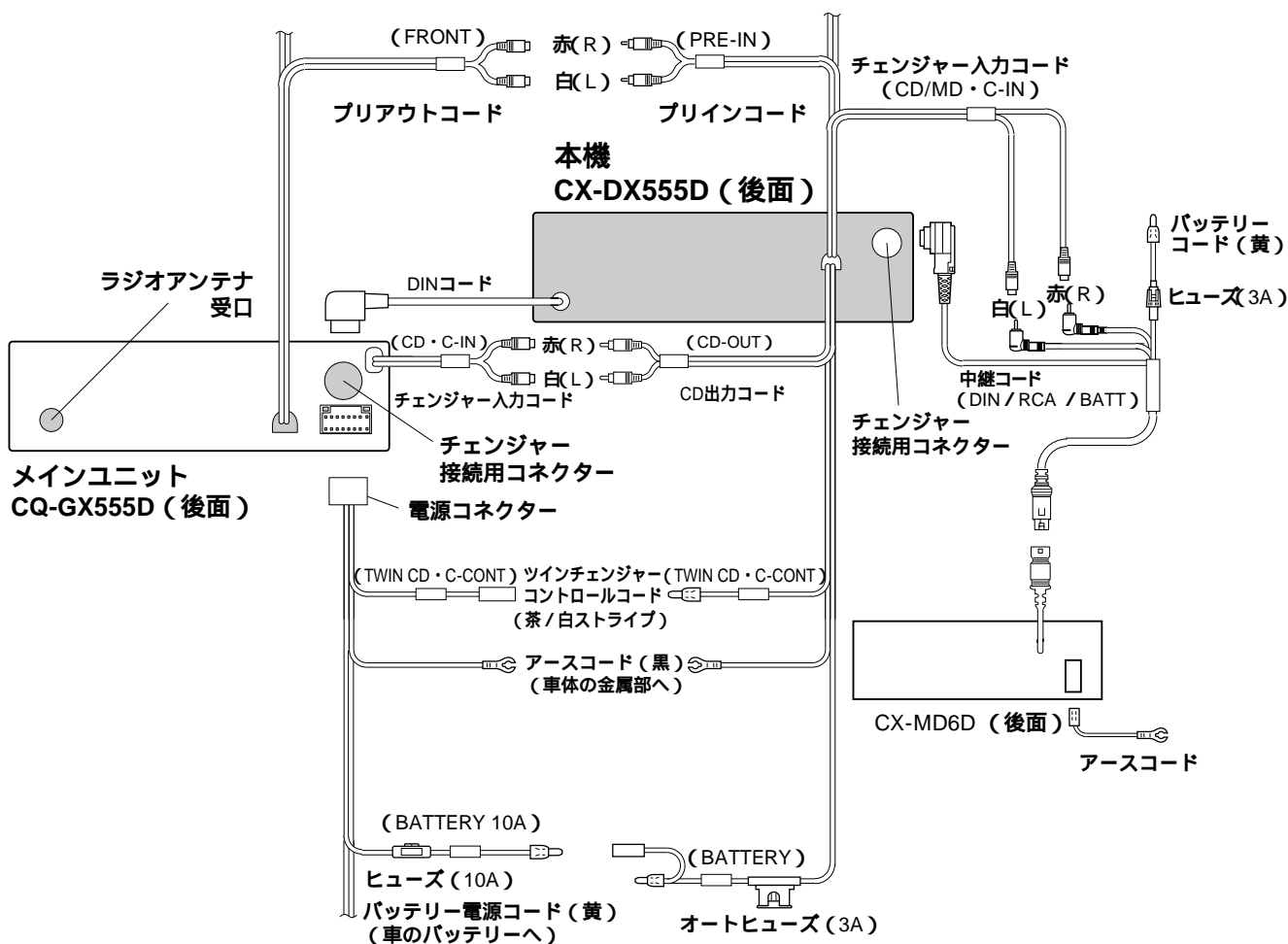


必要なときに

# 配線のしかた (つづき)

## システムアップ：カセットレシーバーとチェンジャーを接続する

例) カセットレシーバー (CQ-GX555D), MDチェンジャー (CX-MD6D) との組み合わせ



バッテリー電源コードは、常時電源が供給されている端子へ接続してください。

### ⚠ 注意

**取り付け、配線は専門技術者に依頼する**

**決められたヒューズを使用する**



本機の実り付け、配線には専門技術と経験が必要です。安全のため、お買上げの販売店に依頼してください。



ヒューズ交換は必ず表示された規定のヒューズをご使用ください。規定以外のヒューズを使用すると、発煙・発火の原因になります。

必要なきに

# 取り付けのしかた

- 本機はDC12V⊖アース車専用です。
- 取り付けには、車両で使用されているブラケットをご使用ください。
- 本機はメインユニット（CQ-MR555D，CQ-GX555D）と組み合わせて、下段に取り付けてください。

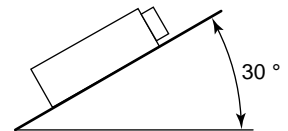
## 取り付け用付属品

添付の袋には、右表の取り付け用部品が入っております。よくお確かめください。

番号	品名	数量
①	座金付きねじ( 5×8 mm)	4
②	皿小ねじ( 5×8 mm)	4
③	スペーサー	2
④	両面テープ	2

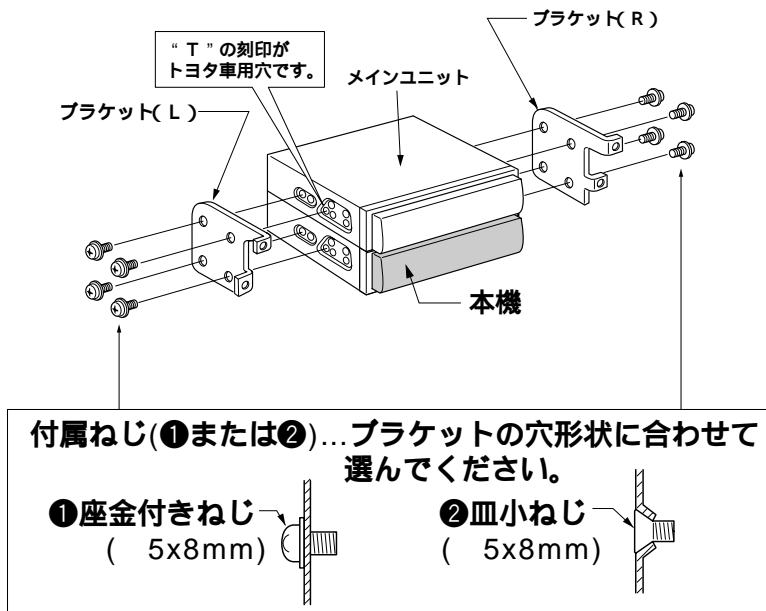
## 取り付けのお願い

本機の性能を十分に発揮するために、水平に対して30度以内の角度で取り付けてください。



## トヨタ車に取り付ける場合（DINサイズ採用車）

1. 車両からカーラジオ、小物入れを取りはずし、それらを止めているブラケットを取りはずします。
2. 付属のねじ①または②を使用して、本機にブラケットを取り付けます。
3. 本機を車両に取り付けます。



- 年式、車種、グレードにより、専用キット（別売）が必要な場合がありますので、別途販売店にご相談ください。
- なお、車両側との配線が容易にできる専用の中継コード（別売）が準備されておりますので、販売店にご相談のうえ、お買い上げください。

必要  
な  
と  
き  
に

# 取り付けのしかた(つづき)

## 日産車，本田車，三菱車に取り付ける場合（DINサイズ採用車）

- 上記メーカーのDINサイズ採用車には，メーカー別の標準取り付けキット（別売）が準備されておりますので，別途販売店にご相談ください。
- なお，年式，車種，グレードにより専用キット（別売）が必要な場合もありますので，販売店にご相談のうえ，お買い上げください。

## 上記以外の車に取り付ける場合

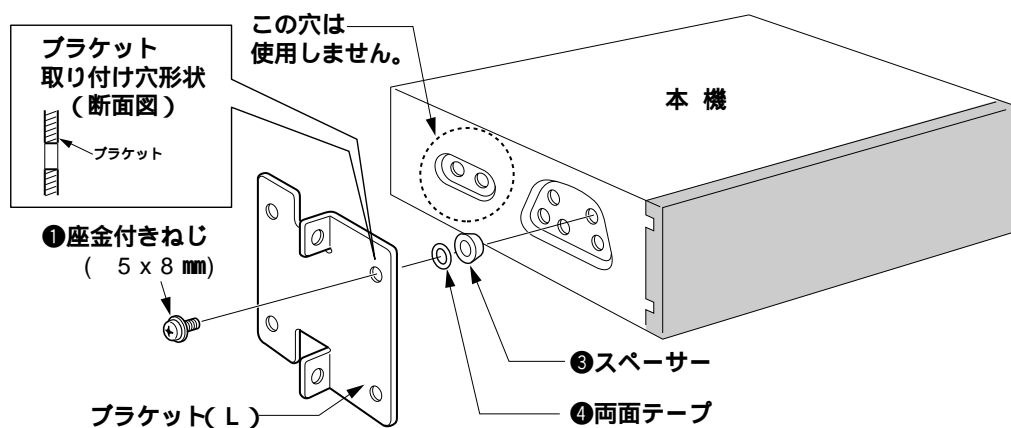
汎用（別売）または車種別に専用キット（別売）が準備されておりますので，別途販売店にご相談ください。

### お知らせ

DINサイズ採用車とは，オーディオスペースに通称セット幅180mm，高さ50mmサイズが搭載できる車

## スペーサーについて

車両のブラケット取り付け穴形状が下図のような場合に使用します。下図をご参照のうえ，正しく取り付けてください。



### ⚠ 注意



### 取り付け，配線は専門技術者に依頼する

本機の取り付け，配線には専門技術と経験が必要です。安全のため，お買い上げの販売店に依頼してください。

# 仕様

## 共通

電源電圧	: DC 12 V (試験電圧14.4 V) ⊖アース
消費電流	: 1.0 A以下 (CD動作定格出力時)
最大出力	: 2.0 Vrms (1 kHz, 0 dB)
プリアウト出力インピーダンス	: 600
外形寸法	: 幅 178 × 高さ 50 × 奥行き 150 (mm)
質量	: 1.5 kg

## CDプレーヤー部

周波数特性	: 5 ~ 20 000 Hz
信号対雑音比	: 96 dB (IHF, A)
ワウ・フラッタ	: 測定限界以下

製品仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

# アフターサービスについて

## 保証書 (別に添付してあります。)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと大切に保存してください。

**保証期間 - お買い上げ日から1年間**

## 修理を依頼されるとき

“故障と思われる前に”の項に従って調べていただき、直らない場合には必ず電源を切ってから、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

### ● 保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが製品に保証書を添えてご持参ください。

お買い上げの販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「お客様ご相談窓口」(別紙参照)にご連絡ください。

### ● 保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店へご依頼ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「お客様ご相談窓口」(別紙参照)にご連絡ください。

## 補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後、最低6年間保有しております。

## アフターサービスなどについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または、お近くの「お客様ご相談窓口」(別紙参照)にお問い合わせください。

便利メモ（おぼえのため，記入されると便利です）

お買い上げ日	年 月 日	品番	CX-DX555D / SD
販売店名	☎ ( ) -		
お客様ご相談窓口	☎ ( ) -		

**松下電器産業株式会社**

**松下通信工業株式会社 カーシステム事業部**

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地

☎ (045) 932 1231 (大代表)

YEFM282939A

B0998-1099